

■ 【AAS】2次通信コース アウトプット演習の進め方

● 2つの添削システムについて

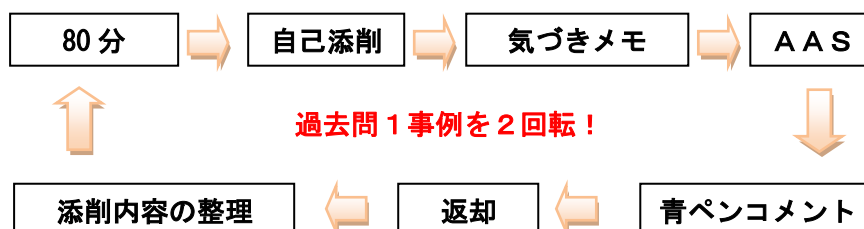
平成 24 年度の AAS 2 次通信コースでは、過去問事例と新作事例により添削システムが異なります。これは、過去問事例と新作事例で取り組む意図が異なるためです。過去問は点数よりも、過去問を通してどんな気づきを得るかが大切です。一方で、新作事例では、過去問の勉強で得た気づきやノウハウを試す実践の場になります。そのようなメリハリをつけた学習を行うことを目的に、過去問事例と新作事例で次のように異なる添削システムで添削を行います。

事例問題	添削システム	概要
過去問	青ペン添削 (1 事例 2 回まで 提出可能)	80 分で解いた解答を自分で添削し、採点や気づきメモを赤ペンで記入してから AAS に郵送して頂きます。AAS では、受講生が記入した気づきメモを踏まえて、1 人 1 人への個別アドバイスを青ペンで追記して返却します。
新作	赤ペン添削 (1 事例 1 回提出)	一般的な添削と同じです。80 分で解いた解答用紙を、そのまま AAS に郵送して頂きます。AAS では、採点基準に基づいて客観的な採点や添削をして返却します。

● 青ペン添削の狙い

「点数だけの評価をしたくない。」AAS のこだわりです。通信コースという制約がありますが、ぜひとも、受講生の皆さんの弱みを改善できるアドバイスを行いたいと思っています。点数づけと同時に、点数が伸びなかった定性的な原因を、「読み方」「考え方」「書き方」の視点から、ご自身の言葉で、解答用紙の余白に気づきメモとして表現してきてください。自分の弱みを自分自身で認識できている方が、合格を手にするはずです。

※ 青ペン添削の合格サイクル



■ 【AAS】2次通信コース アウトプット演習の進め方

●アウトプット演習の手順

<手順①> 教材のダウンロード

受講生サイトから、事例ごとに「問題」と「解答用紙」ダウンロードしてください。



<手順②> 80分で問題演習

タイマーをセットして「80分で解く」感覚を身につけるための時間管理をしましょう。



<手順③> 「解答解説」動画の聴講

受講生サイトから解説動画をダウンロードして視聴してください。



※過去問事例の場合は手順④、新作事例の場合には手順⑤にお進みください。



<手順④> 自己添削（過去問事例の場合のみ）

「採点基準」をダウンロードし、WEBでの解説内容と採点基準で「自己採点」してください。（赤ペン使用）

その際に、提出する解答用紙の余白に「気づきメモ」をあげてください。

「なぜ、その点数になったのか?」「読み方、考え方、書き方、どこが悪いのか」などをあげてください。



<手順⑤> 答案の送付（AASへ郵送）

事前にAASより送付先住所が記載された「宛名ラベル」をお送りします。

該当する提出分の宛名ラベルを封筒に貼り付けして、答案を郵送してください。



<手順⑥> AASより、赤ペン・青ペン添削

AASからの返却は、郵送か、メール便（ヤマト運輸）で行います。

着後、2週間をメドにしてください。